

日本液体微粒化学会 投稿原稿割付見本 (論文用)

注 1. 本書式に従って、原稿は、A4 版で作成する (上下 20 mm, 左右 15 mm マージン)。

注 2. 原稿提出時には、図、表、画像の原本を所定位置に貼り込む。

注 3. 本書式は、論文の場合の原稿割付見本である。

注 4. 特に指定しない本文の字体は、全角文字：MS 明朝，半角英数字：Times New Roman とする。

注 5. また、用紙 1 ページは、28 字×55 行×2 段=3080 字相当とする。

[1 行目～3 行目は空行とする] (以降、空行は 9 ポイント，MS 明朝とする)

[4 行目と 5 行目] **題名は 14 ポイント，MS ゴシック，ボールド体，行の中央に書く。**

[副題は 6 行目] **(副題は 11 ポイント，MS ゴシック，ボールド体，行の中央に書く)**

[1 行あける] (題名，副題は 1 行あたり 140 mm 以内とし，適宜改行する)

[英文題名は 11 pt, Times New Roman, Bold Face, 行の中央に書く] **Atomization by Means of Hole Nozzle**

[英文副題は 11 pt, Times New Roman, Bold Face, 行の中央に書く] **(Theory of Atomization)**

[1 行あける]

[著者名は 10 pt, MS ゴシック, 行の中央に書く] 京都 太郎*, 東京 花子, 仙台 次郎

[英文著者名は 9 pt, Times New Roman, 和文著者名の真下に書く] (Taro KYOTO) (Hanako TOKYO) (Jiro SENDAI)

[著者所属は 9 pt, MS ゴシック, 英文著者名の真下に書く] 京都大学 東京大学 東北大学

[英文所属は 9 pt, Times New Roman, 和文著者所属の真下に書く] (Kyoto Univ.) (The Univ. of Tokyo) (Tohoku Univ.)

[2 行あける]

In the previous paper, the authors presented several experimental results on the characteristics of atomization by means of a hole nozzle.

.....
.....
.....
.....
.....

(両端 15 mm インデント, 9 ポイント, Times New Roman)

.....
.....

Keywords: Atomization, Hole Nozzle, Exciplex Method, Spray Angle,, Diameter

(キーワードは、英文アブストラクトの次行に 5～10 語を記載する)

[2 行あける]

1. はじめに

[1 行あける]

章番号および章名は、**10 ポイント，MS ゴシック，ボールド体**で行の中央に書く。第 2 章以後は、章番号および章名の前後と本文の間は 1 行あける。ただし、章や節が原稿用紙の最上段になった場合、前の文章と 1 行あけず、第 1 行目に書く。本文は、9 ポイント，MS 明朝で書く。

[1 行あける]

1.1 節名が 2 行以上にわたる場合の書き方は、この例による

前の文章と 1 行あけ、行の左端より 1 こまあけて節番号を書き、1 こまあけて節名を **10 ポイント，MS ゴシック，ボールド体**で書く。本文は次の行から 1 こまあけて書く。新しい段落は、1 こまあけて書く。文章の区切りの読点はカンマ「，」を用い、句点は、ピリオド「。」を用いる (括弧を付して補足説明する場合、この例のように、本文の句点の前に括弧を挿入し、括弧内の文章の最後は句点を付さない)。

[1 行程度あける]

句読点は、1 こま分を使用するが、行の最後の場合に限り、追い込んでよい (禁則処理)。

文献番号は、^{(1),(2)} (カンマで区切る) または⁽³⁾⁻⁽¹⁰⁾のように上付文字で書く。

1.1.1 項名が 2 行以上にわたる場合の書き方は、この例による

前の文章との間は空行を設けなくて、行の左端より 1 こまあけて項番号を書き、1 こまあけて項名を **9 ポイント，MS ゴシック，ボールド体**で書く。本文は次の行から 1 こまあけて書く。項以下の区分は、(a), (b), ... などとし、その書き方は項の場合に準じる。

[1 行あける]

2. 図、表の書き方

[1 行あける]

本文と図、表の間は 1 行以上あける。また、図番、図題は図の真下中央に配置し、表番、表題は表の真上中央に配置する。

図題、表題は英語で記述する。また、図番、表番は、それぞれ Fig.1, Fig.2, ... および Table 1, Table 2, ... のように通し番号として、Times New Roman で書く。本文で引用する際、図 1, 図 2, ..., 表 1, 表 2, ... とする。

また、図、表はできるだけ下側および右段に寄せて配置する

← [脚注]

全角日本語：9 ポイント，MS 明朝

半角英数字：9 ポイント，Times New Roman

原稿受付：○○○○年○○月○○日 ← 校閲委員会にて記入

* 責任著者：正会員，京都大学 ← 会員資格，所属を記入

(〒615-8530 京都府京都市西京区 1) ← 住所

E-mail: ← 責任著者のメールアドレスを記入

ときれいに仕上がる。その際、各頁に過度な空白部分ができないように注意する。

[1行あける]

3. 式の書き方

[1行あける]

式は、左端より3こま以上あけて書き、式番号は括弧を付して右端に書く。数学記号、化学記号は、9ポイント、Times New Roman とし、数式の書体は、以下のようにイタリック体にする。

なお、式に限り、数学記号、化学記号の種類により、読みにくくなると判断した場合、規定の9ポイントよりも大きくしてもよい(10.5ポイントから12ポイント)。

[1行あける]

$$a = b \sin \alpha + c \tan \beta \quad (1)$$

[1行あける]

$$b = \frac{d(e+f)}{g+h} \quad (2)$$

[1行あける]

ここで、 a : 液膜の厚さ、・・・・・・

分数を書く場合、式(2)のような表記法を用いる。ただし、本文中に記述する場合、 $d(e+f)/(g+h)$ のように書く。

[1行あける]

4. 図、表、式が両段にまたがる場合

[1行あける]

本文、図、表、式、脚注、文献などは、原則として本原稿用紙の1段(片側)に書き、2段(両側)にまたがって書かない。

[1行以上あける]

- ・この外枠は、表示しない。
- ・図中の文字は、英語で表示する。
- ・文字の大きさは、9ポイント以上とする。
- ・文字のフォントは、Times New Roman とする。
- ・図番、図題は、図の真下中央に英語で書く。
- ・他の文献より転載した場合、図題の直下に [Reproduced from Ref. (1)] と明記する。

Fig.1 Experimental apparatus

Table 1 Experimental condition

- ・この外枠は、表示しない。
- ・表中の文字は、英語で表示する。
- ・文字の大きさは、9ポイント以上とする。
- ・文字のフォントは、Times New Roman とする。
- ・表番、表題は表の真上中央に英語で書く。
- ・他の文献より転載したときは、表題の直下に [Reproduced from Ref. (1)] と明記する。

[1行以上あける]

ただし、図、表、または式が1段(片側)に収まらない場合、2段(両段)にまたがって書いてもよいが、この場合、[見本: Table 2]のように当該ページの最下段もしくは最上段に配置し、本文が図表によって中断されないように書く。

[1行あける]

5. おわりに

[1行あける]

以上述べたように、本原稿用紙を用いて執筆する際に最も注意すべき点は、読者が読みやすいように配慮することである。

[1行あける]

文 献

[1行あける]

文献は、以下のように文頭揃えとする。

- (1)京都太郎, 仙台次郎: 液化ボタン噴霧の特性, 微粒化, 10-5(2000), 145-148. ← [和文雑誌]
- (2)Johnson, R., Schmidt, P., Thompson, G.: Characteristics of Entrainment Spray, J. Atomization, 112 (2001), 28-30. ← [英文雑誌]
- (3)今出川一郎: 微粒化機器の設計, 京都書籍(1995), 79-82, 103. ← [和文書籍]
- (4)Smith, T. A.: Mechanism of Atomization, London Pub. Inc. (1993), 34-39. ← [英文書籍]
- ・・・・・・途中省略・・・・・・
- (10)日本微粒化学会編: 微粒化の原理と実際, 同慶出版会 (1991), 11-15. ← [和文書籍]

図、表が2段にわたる場合の書き方は、この例による。

Table 2 Properties of *n*-pentane and *n*-heptane

- ・図、表が2段にわたる場合の書き方は、この例による。
- ・図、表は、当該ページの最下段もしくは最上段に配置し、本文が図、表によって中断されないように書く。
- ・その他は、Fig.1 と Table 1 に準じる。